

令和4年9月11日  
今週のベストショット



青松園A 三苦ホーネッツ 対 ソルトベ이스ターズ

初回HRを打たれているバッターを前に、朝川監督自らマウンドへ意志の統一を図りに行く。

写真 三苦フレンズ 肥喜里 一征

**青松園A 要所でピンチを回避、長打で確実に得点を重ねたホーネッツが快勝！**

三苦ホーネッツ (8勝1分) 4 1 0 3 0 8 平川○、矢野一広木

ソルトベ이스ターズ (4勝4敗) 3 0 0 0 0 3 酒井●、江良一山川、大門

HR：西村、国吉 (三苦ホ) 井浦 (ソルト) 3BH：三浦 (三苦ホ) 盗塁：稲葉、国吉 (三苦ホ)

先攻の三苦ホーネッツは初回、相手四死球等で三塁まで走者を進め、二死ながら相手のWPで1点を先制。その後も四球、盗塁で二死二三塁として、六番三浦選手がレフトの頭を破るタイムリー三塁打で2点を追加、また、自らWPで得点とし、ホーネッツはこの回4点を奪った。一方、その裏のソルトベイスターズも引き下がらない。三番中村選手がレフト前へヒットを放ち、一死一二塁のチャンスを掴むと続く四番井浦選手がライトへ大きな3ランHRを放ち、あっという間に1点に詰め寄った。両者とも初回からの長打で今日は打撃戦の予感。その予感は二回にすぐ的中。二回表のホーネッツの攻撃。西村選手がライトへのソロHRを放ち、引き離す。更に、四回表には国吉選手がレフト線への強い打球を放ちランニングHRで2打点を奪い試合を決めた。要所で点を重ねたホーネッツが、勝利をものにしながら、三回裏のソルトの攻撃を0点に抑えていたのが大きかったのではないかと。ソルトは、三回裏一死



一二塁の場面で四番井浦選手が打席に立っていた。そこでホーネッツはタイムをとり、朝川監督はじめ野手がマウンドへ集まり、その後の結果は相手四番をライトフライに抑え、無失点で切り抜けている。要所々々で失点を最小限に抑え、着実に点を重ねていくというホーネッツの強さが印象に残った試合だった。(記事・写真 三苦フレンズ 肥喜里 一征)



一回表足でダブルプレーを阻止稲葉選手。



左越えの2点適時三塁打を放つ三浦選手。



勝ち投手となったホーネッツ先発の平川投手。



一回裏、ライト方向へ3ランを放った井浦選手。



1点差に詰めるHRを放った井浦選手を迎え入れるソルトベイスターズ石井監督。



二回表、軽快な守備をみせる井浦選手。





三回表、センター前ヒットを放つ国吉選手。



三回裏、中堅の守備を難くこなす稲葉選手。



三回裏、センター前ヒットら2安打の中村選手。



1点差一死一二塁のピンチにマウンドに集るホーネット陣。



三回裏、最後までしっかりボールを見ている井浦選手。



四回表、サードへの強烈な打球に飛びつくファインプレーを披露した吉田選手。



## 奈多グラウンド 最後の最後まで集中力を切らさず勝利を手にしたのは・・・

奈多フェニックス（5勝2敗） 000641 11 太田○-実延

塩浜ジャガーズ（2勝5敗1分）612001 10 立石、内田●-一角

HR：立石（塩浜ジ） 3BH：沖（奈多フ）一ノ瀬（塩浜ジ）

2BH：実延、須藤（奈多フ）、白戸、立石、内田（塩浜ジ） 盗塁：熊丸2（奈多フ）

初回奈多フェニックスは、先頭望月選手が立石投手の初球を見事にセンター前に弾き返すと、2つの四球から二死満塁のチャンスを作る。しかしここは立石投手が踏ん張り、空振り三振に打ち取って無失点で終える。一方、塩浜ジャガーズは初回より打線がつながり、一ノ瀬選手の2点三塁打など一挙6点を奪う。二回には、立石選手にレフトスタンドを超える特大の本塁打がうまれ、三回までに9点をリードする。しかし四回より試合の流れが大きく変わる。四回、奈多フェニックスは好投していた立石投手のピッチングの乱れを逃さず、四球からチャンスを広げ、沖選手、熊丸選手の連打などで一挙6点を奪い返す。奈多フェニックスの太田投手は粘り強い投球を見せ、以降は相手打線をおさえ、味方の反撃を待つ。五回の表、奈多フェニックスの攻撃は、立石投手から2つの四球を選び取り、2番手内田投手への連打などで得点を重ね、追加の4点で逆転に成功する。最終回にもダメだしの1点を加えた。五回の裏、塩浜ジャガーズは1点を返すも、奈多フェニックスが最大9点差あった展開を見事にひっくり返して大勝利をおさめた。（記事：ブルーマーリンズ 江頭 秀一、写真：山本 憲明）



試合前の奈多フェニックス。



試合前の塩浜ジャガーズ。



奈多フェニックス先発の太田投手。



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。





二回表、ジャガーズ三番立石選手の本塁打。



三回表、フェニックス吉田選手のジャストミート。



四回表、フェニックス沖選手のPBからの好走塁。



塩浜ジャガーズ二番手の内田投手。



五回表、奈多フェニックス二番沖選手の三塁打。

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	
フェニックス	0	0	0	6	4	1		11	
ジャガーズ	6	1	2	0	0	1		10	
TIME	:							NEXT	-

9点差をひっくり返したスコアボード。



本日のヒーロー左からフェニックス熊丸選手、太田投手、沖選手！



## 青松園B 初回の両チーム拙攻から抜け出したのは・・・？

雁の巣ライナーズ（5勝3敗1分）001031 5 柴田○ー有村

奈多サンデーズ（3勝4敗1分）000201 3 塚本、木下、古賀（風）●ー柴田

**3BH**：古賀（風）（奈多サ） **2BH**：野崎（奈多サ） **盗塁**：川原、古賀（風）（奈多サ） 中内（雁の巣）

一回表、雁の巣ライナーズ先頭の明瀬選手が初球をセンターにクリーンヒット。続く二番渡辺選手がセーフティバント。一塁セーフの間に明瀬選手が一気に三塁を狙うも野々下一塁手からの送球でタッチアウト。後続も倒れ2安打ながら無得点に終わる。対する後攻の奈多サンデーズは、先頭の野崎選手がライト前に落ちる二塁打で出塁すると、二番川原選手のセンター前ヒットで無死一三塁。絶好のチャンスで一塁ランナーの川原選手が一二塁間で挟まれての狭殺プレー間に点を取ろうと試みるも三塁ランナーがタッチアウトと裏目に。チグハグは攻撃で後続も倒れこちらも2安打ながら無得点。試合が動いたのは三回表。サンデーズ二番手木下投手が登板すると、ライナーズは一死から九番池内選手が内野安打、一番明瀬選手の送りバントで二死二塁。ここで二番渡辺選手の内野安打とセカンドの悪送球でライナーズが1点を先制する。三回裏、サンデーズは九番壱岐選手がレフト前ヒットを放つと、二死から三番近藤選手の内野安打で一二塁のチャンスを作る。ここで期待された四番野々下選手だったがライナーズ柴田投手のチェンジアップとライズボールに翻弄され三振で同点のチャンス进行を逃す。しかし四回裏サンデーズは、五番柴田選手のレフト前、六番古賀風太選手のライト前ヒットで無死一三塁とすると、七番古賀開選手の一塁ゴロの間に1点取り同点。続く八番土田選手の打席で、ライナーズ有村捕手の三塁ランナーを狙った牽制球が土田選手のバットに当る不運な悪送球によりサンデーズは逆転に成功する。五回表から登板のサンデーズ三番手の古賀風太投手は、球は走っているがコントロールが安定せず、ライナーズ先頭の代打中野選手、一番明瀬選手に連続四球を与えると、二番渡辺選手の送りバントで一死二三塁とされる。ここでライナーズ三番有村選手がセンター前に2点タイムリーヒットを放ち逆転。さらに六番中内選手もレフト前ヒットを放ち4-2とすると、六回表にもWPなどで1点を追加して点差を広げる。5-2で迎えた最終六回裏、サンデーズも二死から六番古賀風太選手の三塁打、七番古賀開選手のセンター前ヒットと意地の兄弟連打で1点返すもここまで。ライナーズ柴田投手の効果的なチェンジアップと有村捕手の好リード&タイムリーなど攻守の活躍が勝ちに繋がった試合となった。

（記事・写真：三苦三球会 堺）



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



一回裏、先頭で二塁打を放つサンデーズ野崎選手。





ライナーズ柴田投手対サンデーズ四番番野々下選手の対決は、柴田投手に軍配が上がる。



本日3安打のライナーズ二番渡辺選手。



六回表、ライナーズ6点目のホームイン。



本日のヒーロー、攻守で活躍の有原捕手。

## ↑青松園Bグラウンドの内野、きれいじゃないですか？

実は、少年ソフトボールチーム・**奈多クラブ**の選手、関係者の方々が青松園Bグラウンドの内野の草を抜いてくれました。こんなきれいな環境では、益々いいプレーを期待したいものですね。奈多クラブの皆さん、ありがとうございます。みんなで大事に使っていきましょう！



草抜き前。



草抜き後。





福岡県を代表する強豪チームも「努力 忍耐」を胸に土にまみれてひとつずつ強くなっていくんですね。  
未来の和白リーガーたち、有難う。  
大きくなったら共にこの地で戦おう！



